

# 使用前検査申請書

原子力発 第22266号  
令和4年 9月 16日

原子力規制委員会 殿

経済産業大臣

西村康稔 殿

住所 香川県高松市丸の内2番5号  
氏名 四国電力株式会社  
取締役社長 長井啓介  
社長執行役員

電気事業法第49条第1項の規定により次のとおり使用前検査を受けたいので申請します。

|  |   |
|--|---|
| 検査を受けようとする原子力発電工作物に係る事業場の名称及び所在地         | 名称 伊方発電所<br>所在地 愛媛県西宇和郡伊方町  |
| 原子力発電工作物の概要                              | 伊方発電所第3号機<br>原子力設備<br>原子炉冷却系統設備<br>一次冷却材の循環設備<br>主要弁<br>主配管<br>非常用炉心冷却設備<br>主配管<br><br>工事計画の届出番号及び届出年月日<br>原子力発 第22109号 (令和4年 5月30日)<br>原子力発 第22152号 (令和4年 6月24日) |
| 検査を受けようとする工事の工程                          | 構造、強度又は漏えいに係る試験をすることができる状態になった時 (一号)  |
|  | 工事の計画に係る全ての工事が完了した時 (五号)  |
| 検査希望年月日                                  | (一号) 自 令和 4年11月 7日<br>至 令和 5年 5月  |
|  | (五号) 自 令和 5年 4月<br>至 令和 5年 5月   |
| 使用開始予定年月日                                | 令和 5年 5月  |
| 原子炉等規制法第43条の3の11第1項の検査のための申請をした場合は、その年月日 | 令和 4年 9月16日   |

添付資料-1: 工事の工程に関する説明書

添付資料-2: 工事の工程における放射線管理に関する説明書

工事の工程に関する説明書

| 年月 | 令和4年  |     | 令和5年 |    |    |    |    |
|----|---|-----|------|----|----|----|----|
|    | 11月   | 12月 | 1月   | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 |
| 項目 | <div style="text-align: center;"> <p>原子炉冷却系統設備</p> <p>使用前検査 (一号)</p> <p>現地工事期間</p> <p>使用前検査 (五号)</p> </div> |     |      |    |    |    |    |

工事の工程における放射線管理に関する説明書

1. 検査に伴う放射線管理

(1) 検査中の放射線管理

被ばく低減及び汚染拡大防止を図るため、検査エリアの環境サーベイを実施するとともに、検査に係る者に対し、伊方発電所放射線管理総括内規（細則-2 放射線管理細則）に基づき管理し、保護衣の適切な着用について指導及び助言を行う。

(2) 個人線量管理

線量は、ガラスバッジ及び警報付ポケット線量計を用いて測定する。

2. 検査場所の区域区分

3号機 原子炉格納容器

(1) 汚染区分

B区分<sup>(注)</sup>

(注) 核原料物質又は核燃料物質の製錬の事業に関する規則等の規定に基づく線量限度等を定める告示（平成27年8月31日 原子力規制委員会告示第8号）に定める表面密度限度及び放射線業務従事者の呼吸する空気中の放射性物質の濃度限度を超えるおそれのない区域

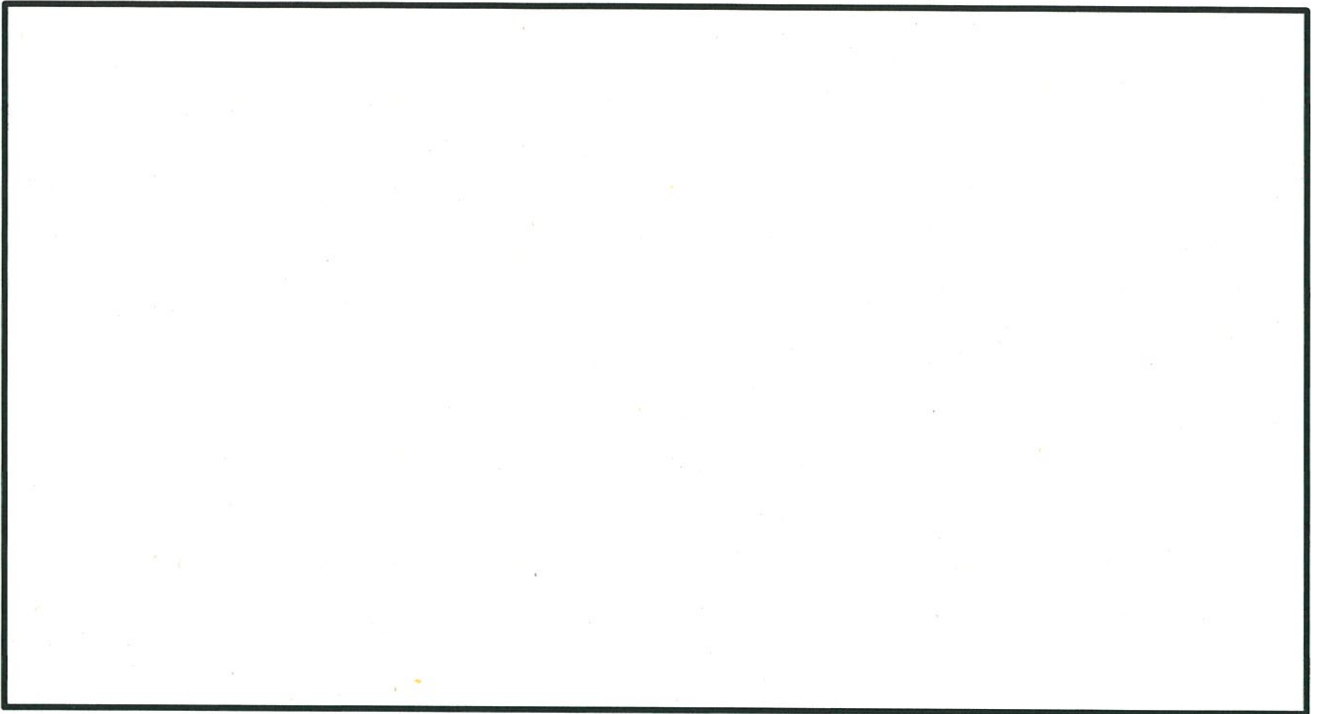
(2) 線量当量率区分

3区域：1 mSv/hを超えるおそれのある区域

3. 管理区域検査場所図

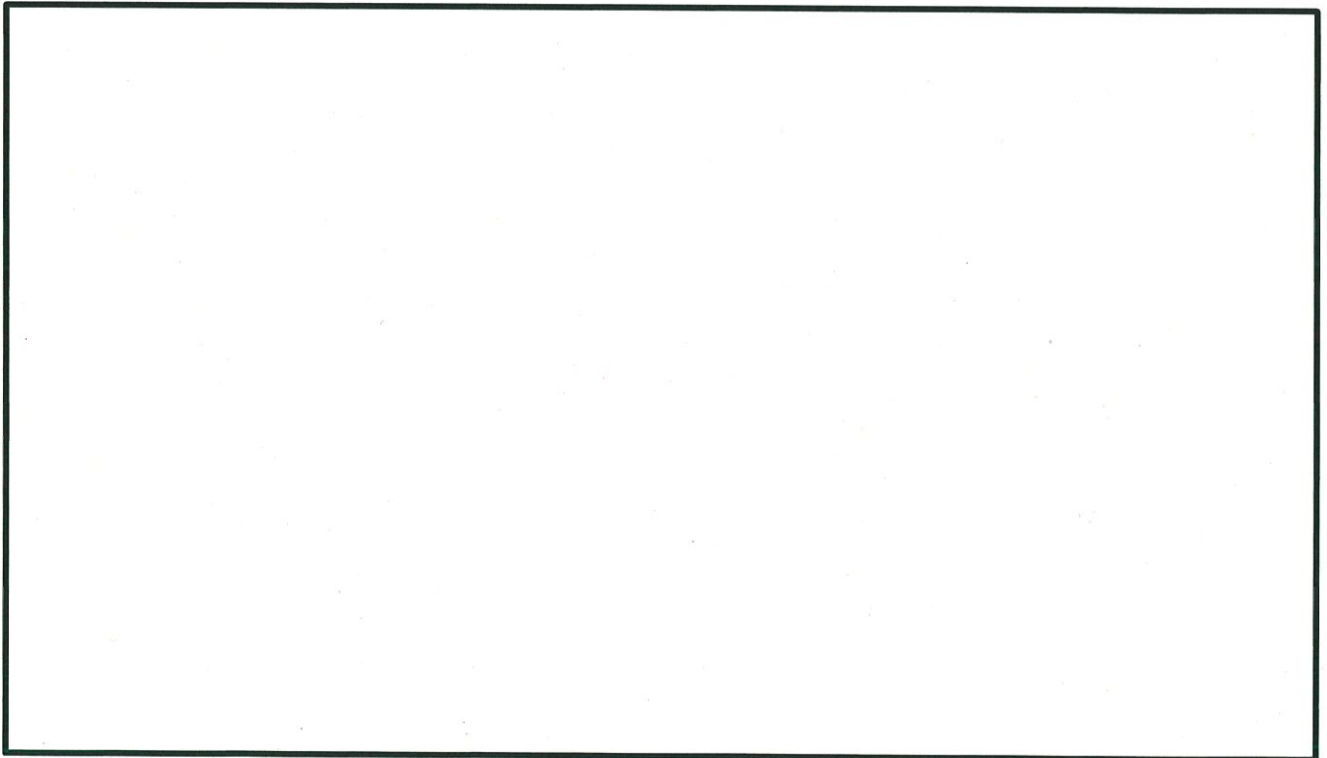
別紙参照

# 管理区域検査場所図



原子炉格納容器 E.L. 17.0m

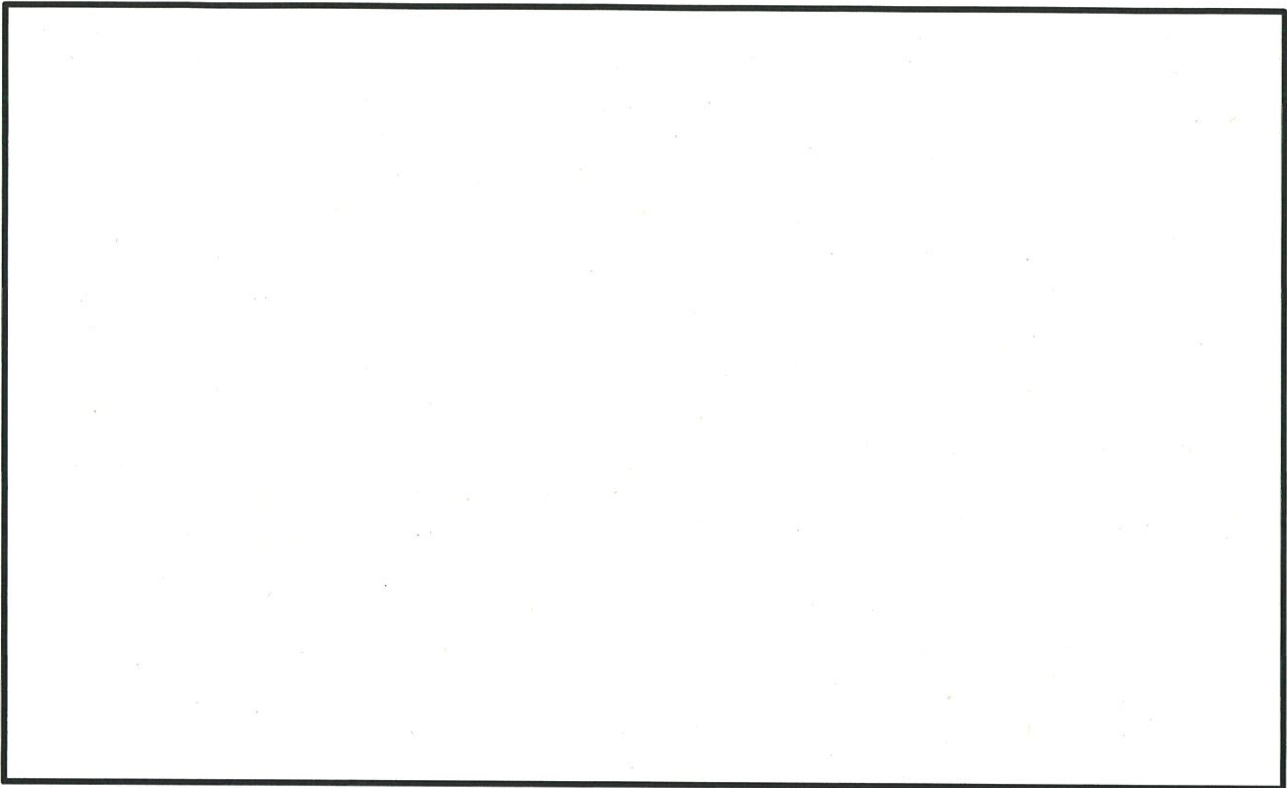
 : 検査場所



原子炉格納容器 E.L. 24.0m

 : 検査場所

管理区域検査場所図



 : 検査場所

原子炉格納容器 EL. 32.3m